

関西に住んでいる知人(女性)から病気の相談を受けた。ストレスで精神科の薬を服用し、不妊症・不育症・子宮筋腫除去手術などの病歴がある。現在は口の痙攣や様々な場所(耳元、歯の付け根、首筋、背中、膝の裏など)の痛みがある。冷えると、そうした症状が強くなるという。マスコミで知ったのか、有名な先生に中国鍼の治療を4回受けたが、まだ良くなったわけではないのに、「もう来なくてよい」と言われたそうだ。

不妊症・不育症・子宮筋腫などから判断すると、血毒の問題が強いと思われた。その血毒が口周辺に上って口の痙攣を起こし、様々な場所へ行って痛みを起こすのだろう。そこで、刺絡(少し血を出す鍼)治療可能で、整骨(接骨)併設でない鍼灸院を探すように言った。整骨併設の場合、全体的な病態を診て治療する本来の東洋医学でない場合が多い。

それから、知人はいくつかの治療院に通ったようだ。吸い玉、カイロプラクティックなどを受け、病院では漢方薬も処方されて飲んだ。刺絡可能な鍼灸院が見つからず、また、信頼できる場所が見つからないようだった。「金儲けの対象と思われている」と愚痴っている。関西にあり、信頼できるG鍼灸院を紹介した。だが、電話での問い合わせまでには至ったようだが、結局、1時間以上通うのにかかる事と、「血を出す」という刺絡を、家族に反対されたりして、行くところまで至らなかった。

そうこうしている内に、新聞記事を読んで、精神薬の離脱症状ではないかと思うようになったようである。その関係の本を出している医師がいる関東の病院に行く途中で、私の治療を受けに寄った。

「特に左目、首、肩、左半分、足裏の腫れ、手足の指の付け根の腫れ、歯の動き、耳の付け根」と問診表には記し、最後に「多分、ベンゾ系離脱症状」とある。診ると、お腹は水毒とガスが充満している状態で、どこも少し圧しただけで痛む。背中を診ると、想像した通り、4ヶ所程、血毒がありそうな邪気が出ていた。そこでその4ヶ所を刺絡すると、やや黒い血が出て来た。その他、全体的な治療をした。ガチガチだった背筋は動くようになり、お腹も多少、緩んだ。痛みや症状が出ている場所を刺絡することもできるが、これだけ各所に出ていると追いつかないし、それよりも、その血毒の中間基地に当たる部分から刺絡するのが効率的であり、有効である。

当初のイメージ通りの病態であり、治療も効果的にできた。そこで自信を持って、こうした治療を続けていくことを勧めた。私のところへ来るのはたいへんなので、G鍼灸院を改めて勧めた。知人は多少その気になった。

知人はその後、関東の病院に向かった。しばらくして、「鍼灸では治らないと言われた」というメールが来た。数日して再びメールが来た。「有効な治療法はないと言われた」。「精神薬を言われるまま飲んでいて、自分を反省し、「精神科医だけを怨んでは何の成長もない」と積極的に自立的な考えが書かれていた。

他人ばかりを恨み、愚痴るマイナス思考が転換されたのはとても良いことだった。この事自体が大きな治療効果を生むだろう。そのプラス思考で、鍼灸を知らない医師の言葉ではなく、私の勧めを信じ、G鍼灸院に通って欲しかった。病は因縁の結果である。この選択もまた因縁に他ならない。(2012年9月白露)